



筑波大学
University of Tsukuba



筑波大學台灣校友會會刊
UNIVERSITY OF TSUKUBA
TAIWAN ALUMNI ASSOCIATION COMMUNICATIONS



筑波大學台灣校友會
UNIVERSITY OF TSUKUBA
TAIWAN ALUMNI ASSOCIATION
10672台北市大安區長興街81號
筑波大學台灣校友會秘書處
02-3366-9313

Contents 目次

会長挨拶

2 校友会会報の第9号発刊にあたって

筑波大学から

4 沿革

活動報告

6 筑波大学台湾校友会第9回総会報告

8 TUAN台湾同窓会

10 「学長を囲む会」 in Taiwan

12 第8回台湾人若手カフェ

14 筑波大学×台湾大学国際読書会

校友紹介

18 私のスラッシュキャリア——郭威伯

22 鄭成功が結ぶ、長崎と台湾の400年の縁

留学生だより

26 英語も大丈夫

28 私の留学生活

校友交流

30 校友の近況

32 台湾野球音楽会

34 親睦会

台湾オフィス報告

36 筑波大学台湾オフィス便り

38 筑波大学校友会規約

40 編集後記

會長的話

3 會長的話

筑波訊息

5 校史沿革

活動報告

7 筑波大學台灣校友會第九屆總會報告

9 TUAN台灣同學會

11 「校長座談會」 in Taiwan

13 第八屆台灣年輕人座談會

15 筑波大學×臺灣大學國際讀書會

校友寄語

19 我的斜槓人生——郭威伯

23 鄭成功所結下的長崎與台灣400年的緣分

學生寄語

27 英語嘛欸通

29 我的留學心得

校友交流

31 校友近況

33 台灣棒球音樂會

35 親睦會

台灣辦事處報告

37 筑波大學台灣辦事處

39 筑波大學台灣校友會章程

40 編輯後記

校友会会報の第9号発刊にあたって

文 ● 筑波大学台湾校友会会長 邱若山（1987-1992文芸言語研究科 静宜大学・東呉大学日本語文学系／清華大学歴史研究所 非常勤教授）

筑波大学台湾校友会会長の邱若山です。
2023年3月コロナ禍が収束した時点で、三期を務めた初代会長林華韋氏の後継ぎとして忝く会長の任を拝命いたし、早くも二年の任期が終わりました。経歴、社会的活動力などにおいて遥かに力の及ばないことに自覚しながら、無事二年間、リリーフとして責務を果たすことが出来ました。

任期中、2023年の九月末十月初めに母校筑波大学開学50周年、創基151周年記念の節目に際会し、式典、祝賀会などのイベントに参加出来たことは、最高の光栄と幸福に存じていました。（詳細は第8号）

2024年12月7日に筑波大学TUNA台湾同窓会、又「〈学長を囲む会〉in台湾」を初開催でき、大勢の会員の参加で盛会でした。

今年に会長の改選があり、私は段階的任務を達成し、再選しませんが、会員の皆様から、必ず有能で有力な次期会長を選出できると期待し、また確信しております。

今年の総会も、永田学長をはじめ、多人数の先生方のご来訪をいただけること、感謝の言葉もございません。また、皆様のご尽力とご協力のおかげで無事に会報第9号を発行できる運びとなりましたことに、執筆者及び編集の皆様にご心より感謝を申し上げます。

ここに、本会成立目的は校友たちの交流の場であるということ、を改めてお伝えしたいと思います。

(1) 筑波大学及びその前身となる学校に在籍した校友を対象としていること

筑波大学は1872年に東京高等師範学校としてその歴史が始まり、東京文理科大学（1929年）、東京教育大学（1949年）を経て、1973

年につくば市に本部キャンパスを移転して筑波大学となりました。本校友会は、このような筑波大学の歴史を踏まえ、筑波大学およびその前身となるすべての大学・組織で勉学、経歴した校友の集う会を目指しています。

(2) 台湾在住の校友の方々を対象としていること

本会の幹事会にも、台湾人と日本人の校友に参加していただいています。国籍を問わず台湾に在住している校友同士が共に盛り上げていく校友会を目指しています。

(3) 校友同士の親睦及び台湾と日本との相互交流と友好発展に寄与すること

校友同士の懇親会、筑波大学と台湾の交流支援などを企画実施していきます。毎年発行する本会報もその一助となればと考えています。皆様の方で活動企画などありましたら、是非幹事会へご連絡ください。校友の皆様と情報共有するとともに協力して活動していきたいと考えています。

(4) これまでの交友活動に敬意を払うこと

本学の153年に亙る歴史の中で、様々な先輩・後輩の方々が、校友間の親睦や筑波大学との交流に貢献されてきました。このような活動に敬意を払い、また校友間でこれまでの活動を共有するためにも、本会報などに取り上げて行きたいと考えています。是非とも御寄稿ください。

会則および幹事については本会会則をご覧ください。よりよい校友会にしていくために、皆様のご意見を歓迎しております。何かありましたら、次期会長或いは幹事会（私も含めて）へ是非お知らせください。

今年もよろしくお願いいたします。 🌸

筑波大学台湾校友会 会長 2025年3月吉日

校友會會刊第九期 會長的話

文 ● 筑波大學台灣校友會會長 邱若山
（1987-1992文芸言語研究科 靜宜大學・東吳大學 日本語文学系／清華大學歷史研究所兼任教授）



邱若山

大家好，我是筑波大學台灣校友會會長邱若山。

2023年3月在新冠肺炎的災難結束時，我誠惶誠恐地接續了林華韋創會會長的工作，很快地二年的任期在今年3月結束。自覺在經歷與社會活動力各方面都能力不足的情況下，中繼兩年，完成階段性任務，實在感恩。

任期當中，在2023年9月底10月初，因緣際會，欣逢母校筑波大學開校50周年與創基（東京高等師範）151周年紀念，有幸參加了紀念慶典以及祝賀大會和系列活動，感到無限的光榮與幸福。（詳見本刊第8號拙文）。

2024年12月7日第一次筑波大學TUNA台灣同學會及「校長座談會in台灣」在台北召開，感謝很多校友支持並參加。

今年會長改選，我完成階段性任務，不再參選。期待也確信各位會員必能選出更具有能力的下任會長，接續校友會的發展與運作。

今年的年度總會，如同歷年承蒙母校永田校長以及多位教授的大駕光臨，感激無以言謝。第九期的台灣校友會會刊一如往年能順利付梓，在此向提供文稿以及盡力幫忙編輯的各位同仁，獻上無盡的感謝之意。

於此再次借此版面重申本校友會的成立目的，在於促進校友之間的交流。以下幾點再度向大家說明：

1. 本校友會の入會資格，以筑波大學及前身大學校友為對象。

筑波大學始於1872年創校之東京高等師範學校，經歷了東京文理科大学（1929年）、東京教育大學（1949年）的時代，於1973年把校本部移到筑波市，以此地為名而成立了筑波大學。故本校友會以此歷史的軌

跡為本，以集合在筑波大學及前身之所有大學求學、生活經歷之校友為目的而設立。

2. 不分國籍，以居住在台灣的校友為對象。

以本校友會的幹事會為例，台灣的校友和日本的校友皆擔任幹部，不分國籍，一同為台灣校友會的活動盡心盡力，以融合不同國籍的校友為目的而設立。

3. 以增進校友間的感情，加強台灣與日本間相互的交流與發展為目的。

將策劃校友間的聯誼活動，並支援筑波大學與台灣之間的交流，每年發行之會刊，即為此目的而策劃，希望能對促進聯誼有所助益。諸位校友若有其他活動企劃的想法，也煩請跟幹事會聯絡。願校友們都能在共有共享的基礎上，互助合作，為本校友會的活動增添色彩。

4. 向歷來的校友會活動致敬

在母校153年悠久的歷史中，有些校友先進為校友活動貢獻良多，在此向歷來的校友會活動參與人員，致上最高的敬意與最深的感謝。為了與所有校友們分享校友會在一年間的交流活動，我們每年將其編輯成冊，在此歡迎各位校友不吝惠賜稿件，在會刊的取材與內容方面，也歡迎隨時提供我們寶貴的意見。

另外，也將台灣校友會章程附載於本會刊中，請各位會員過目。各位會員的賜教都將促進本會的成長，有任何意見請直接與下任會長或幹事會（我也在其中）聯絡，再次謝謝各位。 🌸

筑波大學台灣校友會 會長 2025年3月吉日

沿革

1872

■5月29日、
東京に師範学校設立。

1886

● 東京師範学校は高等師範学校と改称



1893

● 嘉納治五郎、校長に就任。



1920

●東京箱根間往復駅伝競走大会優勝

金栗四三が設立した、東京箱根間往復駅伝徒歩競争大会(現在の箱根駅伝)第1回で東京高等師範学校が初優勝を飾った。

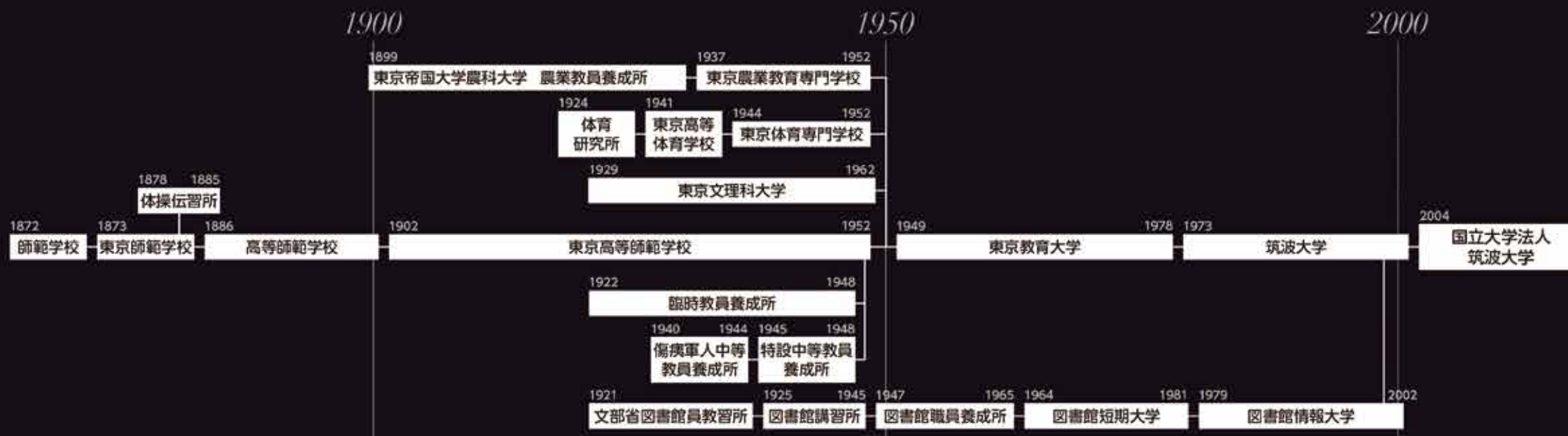


1929

●東京文理科大学設置。



筑波大学の起源は1872年、日本初の教員養成機関として発足した「師範学校」にさかのぼります。それから101年、東京教育大学の移転を契機に、よき伝統と特色を生かしながらも、わが国ではじめて抜本的な大学改革を行い、1973(昭和48)年に「開かれた大学」を建学の理念に総合大学として発足しました。開学から40有余年、筑波大学は初心を忘れず、しかもつねに時代を先駆ける大学を目指して不断の改革を続けています。



1949

- 国立大学設置法(昭和24年法律第150号)により東京教育大学設置。



1956

● 朝永振一郎、学長に就任。

東京教育大学第2代学長。1965年、ノーベル物理学賞受賞。くりこみ理論の発明により、量子電気力学の発展に寄与。1969年、東京教育大学名誉教授に就任。



1973

- 国立学校設置法等の一部を改正する法律(昭和48年法律第103号)により筑波大学を設置。



1992

● 江崎玲於奈、学長に就任。

筑波大学第5代学長。1973年、ノーベル物理学賞受賞。現代のエレクトロニクスの基礎を担う半導体物理学分野の発展に寄与。1998年、筑波大学名誉教授に就任。



2004

- 国立大学法人法（平成15年法律第112号）により国立大学法人筑波大学を設置。

筑波大学台湾校友会 第9回総会報告

第9回筑波大学台湾校友会総会は、多一年に一度のイベントとして多くの校友たちが一同に会し、2024年3月2日に台北福華大飯店にて開催されました。

邱若山会長と永田恭介学長のご挨拶に続き、金保副学長が筑波大学創立50周年の記念イベントについてご説明くださいました。

そして、総会の最後は、2名の校友による「今昔物語」です。

日商日揮股份有限公司總經理の笹原勉さんは、20年ぶりに母校に帰って感じた変化と変化していないこと、学生生活の思い出とご自身の中国語学習、そして海外での仕事の経験についてお話くださいました。

続いて登壇した2023年に卒業したばかりの謝昊容さんです。謝さんは台湾オフィスが設立して間もない頃に説明会で伺った高校で、筑波大学が第一希望の大学



だと話してくれたのがとても印象的でした。その後、念願叶って筑波大学に入学し、修士課程まで学びました。活き活きとした数多くの写真から6年間の筑波での成長を窺い知ることができ、教員たちにとっても感動と励みになりました。

総会の後に開催された親睦会では70名の校友が集まり、会場のあちこちで互いの近況や思い出話に花が咲いてました。

ご参加くださいました皆様には心より感謝申し上げます。今回のイベントも無事に幕を下ろすことができましたのも、ひとえに皆様からの支えと熱意のおかげです。今後もこの大切なご縁が末永く続きますよう、校友の皆様と手を携えて校友会の発展に力を注いで参りたいと存じます。



筑波大學台灣校友會 第九屆總會報告

2024年3月2日，第九屆筑波大學台灣校友會總會活動在台北福華大飯店成功舉行，活動圓滿落幕。校友齊聚一堂，共同見證這一年一度的盛會。

活動當天，首先由邱若山會長與永田校長致詞，並由金保副校長向大家介紹創校五十週年的紀念活動，最後特別邀請到兩位校友分享「今昔物語」。首先是日商日揮股份有限公司的笹原勉總經理，他分享了自己睽違20年回到母校，所感受到的變與不變，回顧了學生生活、學習中文以及海外工作經歷；接著是2023年才畢業的謝昊容同學，她是當年台灣辦事處剛成立不久，到高中舉辦說明會時接觸到的高中生，當時聽到她以本校為第一志願，印象非常深刻。之後她順利進入本校就讀，並且繼續攻讀碩士班，在筑波大學的六年期間，透過她大



量生動的照片，跟著她一步一回首，看著她的成長，師長們心中滿滿的是感動與欣慰。

隨後約70名校友參與了熱鬧的聯誼餐會，交流彼此的近況與往事。感謝所有參與此次活動的校友及朋友們，正是你們的支持與熱情，讓活動圓滿成功。期待未來校友們攜手並肩，繼續推動校友會發展，讓這份珍貴的情誼永續傳承。





筑波大学TUAN台湾同窓会

12月7日、第1回筑波大学TUAN 台湾同窓会をハワード・プラザホテル（台北）にて開催し、永田 恭介 学長、池田 潤 国際担当副学長・理事、金保 安則 大学執行役員（事業・リレーション担当）、関 瑞穂 国際局調整役等が出席しました。

TUAN（Tsukuba Universal Alumni Network）は昨年10月に設置された海外の同窓会組織・同窓生（日本人を含む）と本学をつなぐ同窓会ネットワークです。

永田学長のご挨拶では、これまでベトナム、カザフスタン、アメリカなどでもTUAN同窓会を開催してきたこと、今回は台湾校友会や茗溪会などの同窓会の方々を始め、当該同窓会組織に加入していない同窓生も含めて、多くの同窓生に参加いただいたこ

とに関する感謝の言葉が述べられました。

続いて、永田学長から、秋の外国人叙勲で旭日重光章を受章された 李 嘉進 国民党主席特別顧問（日本担当）・国立台北大学教授（人文社会科学研究所・博士（国際日本研究））にお祝いの言葉と記念品が贈呈され、その後、李 嘉進 氏の乾杯の挨拶で会場は更に和やかな雰囲気になりました。

懇談会では、1人1分間スピーチにより近況報告等があり非常に盛り上がりを見せ、年代を超えたネットワークが広がっていました。

池田副学長の閉会の挨拶の後記念撮影が行われ、約2時間の第1回TUAN台湾同窓会が終了となりました。TUAN同窓会は、今後も世界各国で開催する予定にしています。

関連リンク © Tsukuba Universal Alumni Network (TUAN) ウェブサイト
<https://www.bgi.sec.tsukuba.ac.jp/tuan/>

筑波大学TUAN台湾同學會

12月7日、首次的筑波大學TUAN台灣校友會在台北福華大飯店舉行，永田恭介校長、池田潤國際事務副校長・理事、金保安則大學執行役員（負責事業・關係）、國際局關瑞穗先生等都出席了此次活動。

TUAN（Tsukuba Universal Alumni Network）是去年10月設立的海外校友組織，主旨在連結海外的校友（包括日本人）與本校。

在永田校長的致辭中，提到之前在越南、哈薩克、美國等地也曾舉辦過TUAN同學會活動，並對本次包括台灣校友會、茗溪會等校友組織的成員，還有未加入該組織的校友參與表示感謝。

隨後，永田校長向秋季外國人勳章旭日重光章的獲獎者——李嘉進國民黨主席特別顧問（負責日本事務）・國立台北大學教授（人文社會科學研究所・國際日本



研究博士）表達祝賀，並致贈紀念品。在李嘉進教授的乾杯致辭後，會場氣氛更加和諧融洽。

在隨後的交流會中，大家進行了一個人1分鐘的近況報告即席演講，現場氣氛非常熱烈，並且促進了跨越年齡的校友間的進一步交流與擴展。

在池田副校長的閉幕致辭後，進行了團體紀念合影，約二小時的首次TUAN台灣同學會圓滿閉幕，此後TUAN將會在世界各地繼續舉辦這樣的同學會活動。





筑波大学「学長を囲む会」in 台湾を初開催

12月7日、筑波大学は「学長を囲む会 in 台湾」を国立台湾大学の台大明達館にて開催し、永田 恭介 学長、池田 潤 国際担当副学長・理事、金保 安則 大学執行役員（事業・リレーション担当）、花木 大樹 事業・リレーション推進室 職員が出席しました。

本イベントには台湾現地企業および台湾に支社を構える日系企業を含む44名が参加し、産学連携の新たな可能性を探る貴重な場となりました。

「学長を囲む会」は、筑波大学が社会との連携を深め、社会貢献の基盤を築くことを目的として2009年10月に第1回を日本国内で開催しました。現在、本会には300社を超える企業・団体が参加するまでに成長しています。台湾での開催は今回が初めてであり、これまで学術分野において盛んに交流を行っ

てきた台湾との新たな取り組みとして、企業界との連携に挑む場となりました。

会の冒頭では、永田学長から筑波大学の近況報告が行われ、続いて金保大学執行役員による教育・研究成果や「学長を囲む会」の紹介がありました。

その後、参加者との質疑応答や情報交換が行われ、活発な議論が交わされました。

学長は講演の中で「本学の優秀な人材と台湾の企業を結び付け、新たな価値を創造していきたい」と述べ、大学と企業の協働の重要性を強調しました。

本会は、参加者からも好評を博し、台湾における産学連携の第一歩を踏み出す場として大きな意義を持ちました。筑波大学は今後も国際的な交流を強化し、社会貢献と革新を目指して活動を続けていきます。

筑波大学「校長座談会」in 台湾 首次舉行

12月7日、筑波大學在國立臺灣大學的明達館舉行「校長座談會 in 台灣」，永田恭介校長、池田潤國際事務副校長・理事、金保安則大學執行役員（負責事業・關係）、花木大樹事業・關係推進室職員等均出席了此次活動。

本次活動共有44位來自台灣企業及在台設有分支機構的日系企業代表參加，成為探索產學合作新機會的寶貴平台。

「校長座談會」是筑波大學為加強與社會的聯繫、並建立社會貢獻基礎而於2009年10月首次在日本國內舉行的活動，目前為止已有超過300家企業和團體參與。此次在台灣首次舉行，並作為與台灣學術界長期合作的延伸，開展與企業界的合作。

會議開始時，永田校長分享了筑波大學的最新情況，隨後由金保大學執行役員介紹了學校的教育與研究成果以及「校長座談會」的宗旨。

接著，與會者進行了積極的問答交流和資訊分享，並就未來合作的可能性展開了深入討論。

在講話中，永田校長表示：「我們希望將筑波大學的優秀人才與台灣的企業結合，共同創造新價值」，並強調了大學與企業合作的必要性。

本次活動獲得了與會者的高度評價，對於台灣產學合作的第一步具有重要意義。筑波大學未來將持續加強國際合作，並積極推動社會貢獻與創新發展。



第8回台湾人若手カフェ リサーチとキャリアパス

文 ● 筑波大学台湾留学生会 会長 劉承衛

第8回台湾人若手カフェ、「学生による自治」と「世代間の繋がり」の精神に基づき、筑波大学台湾留学生会と台湾校友会の合同で台湾の駐日代表処の補助と校友会の賛助をいただき、2024年12月1日に開催されました。

前回開催の人数には及ばないものの、今年も各学年の学生や留学生会の顧問の先生にもご参加いただきました。今回は4名の先輩たちのキャリアや研究の報告となりました。

1人目の発表は、卒業生の陳璟さんです。芸術学を専攻した陳さんの、卒業後に青森市での台湾国際交流員の経験談から、青森と台湾の海洋文化という共通点や、台湾の留学生の卒業後の個人的な努力による日台の地方交流の促進について理解できました。発表の後、参加者たちからは青森の文化や国際交流員の具体的な仕事について、多くの質問がありました。

2人目は、修士課程2年生の黃琪鈞さんによる日台間の幼児教育の評価制度の相違についての研究です。教育学専攻の黃さんの発表は、幼児教育による社会全体の発展の促進、そして日台それぞれの幼児教育の評価制度の来し方についてでした。発表の後、参加者たちと日台の保護者の教育観や幼児教育者の育成について意見交換が行われました。

3番目の発表は、邱太一さんです。生物資源学類の卒業生ですが、東京都内のジムのコーチの道に進みました。邱さんは専攻と興味

を如何に職業選択に結び付けるかを参加者に伝えたいということで、自身の入学から就職までの各段階での準備について詳細な説明と、将来日本での就職を考えている後輩たちへのアドバイスをいただきました。参加者からは、就職活動中および手続きの方面で注意すべき点についての質問がありました。

最後の発表者は、博士課程1年生の劉承衛さんです。国際公共政策を専攻している劉さんは、戦後の台湾の知識分子となることを目指しており、現在取り組んでいる研究の一部である雷震の戦後の民主政治に関する文章から見られる日本の政治学者の森口繁治と中華民国の国父である孫文の影響について紹介してくださいました。参加者からは、全体的な研究の方向と雷震本人の経歴などについての質問がありました。

こうして今回の第8回台湾人若手カフェは円満に幕を下ろしました。この座談会は毎年人的物的リソースも限られた中で各方面からの積極的な参与の下で開催されていますが、こうして無事にとり行われたことは、大きな励みになりました。今後も各地で活躍する卒業生や在校生に経験談をシェアしていただき、この座談会が各世代の筑波人がつながら場になりましたら嬉しいです。

最後になりましたが、各方面の皆様のご協力のおかげで今回も無事に開催できましたことに、改めて御礼を申し上げます。（訳：服部美貴、台湾大学日本語文学系助理教授）

第八屆台灣年輕人座談會 喝咖啡聊研究與求職就業分享會

文 ● 筑波大學台灣留學生會 會長 劉承衛

第八屆台灣年輕人座談會於2024年12月1日順利舉辦，基於「學生自治」與「世代聯繫」之精神，本次座談會由筑波大學台灣留學生會與校友會一同舉辦。此外，也特別感謝我國代表處的補助，以及向本次活動提供贊助的校友會。本次經過幹部討論後，決定縮短活動時程，故本次只有四位學長姐分別進行職涯與研究發表。

第一位發表者為畢業生陳璟，自藝術學專攻畢業的陳璟學姐分享了其在畢業後前往青森市擔任台灣國際交流員之心路歷程，透過陳學姐的發表，聽講者了解到了青森與台灣在海洋文化上的相似處，以及台灣留學生在畢業後如何透過個人的力量來推動日台之地方交流，在發表結束後，聽講者多就青森的文化以及國際交流員的具體工作進行提問。

第二位發表者為碩士二年級的黃琪鈞，專攻教育學的黃琪鈞學姐在本次發表中探討日台間幼兒教育評鑑制度之不同，在發表中，學姐說明幼兒教育如何促進社會整體發展，並整理日台各自對於幼兒教育之評鑑方法的發展歷程，最後聽講者們就日台家長的教育觀以及幼教人員的培養進行了討論。

第三位發表者為畢業生邱太一，學長畢業於生物資源學類，但其最後選擇了在東京都內的健身房擔任教練，因此本次邱太一學長希望向聽講者們分享如何在專攻與興趣之間做出職業選擇，他在發表中仔細地說明自己從入學到就業為止各個階段的



準備，給予了未來考慮在日本就業的學弟妹們一個具體的參考方向，爾後，聽講者們詢問了在求職以及手續方面需要注意的事項。

第四位發表者為就讀博士一年級的劉承衛，目前就讀國際公共政策的他在本次發表中介紹其正在進行的一部分研究。目標為研究戰後台灣知識分子的他目前正在撰寫雷震在戰後的民主政治論述，其中提到了雷震是如何受到日本政治學家森口繁治與中華民國國父孫中山的影響，在發表後，聽講者提問了整體的研究方向以及雷震本人的經歷等。

至此，台灣年輕人座談會圓滿結束。每年座談會的舉辦都需要各方積極地協調以及配合，在人力物力都有限的情況下，想必各位都對於能看到第八屆座談會舉辦成功一事感到欣慰與雀躍，今後的座談會希望能持續地邀請在各地活躍的畢業生以及在校生們來分享，並透過座談會，來將各世代的筑波人給串聯起來。最後，再次感謝各方人士的協助，才能讓座談會迎來一個美好的結束。

UT×NTU International Study Group Program 筑波大学×台湾大学国際読書会

台湾大学と筑波大学は、2016年から国際読書会プログラムを始めました。開始当初の課題図書を読んでグループディスカッションをして発表をする交流の形から、現在はテーマを決めて国際的な時事問題を話し文化交流も行う形式になっています。28年目に入った2024年、台湾と筑波大学は緊密なパートナーになっています。

国際読書会での異なる学科や文化の背

景を持つ台湾大学と筑波大学の学生によるグループ討論は、仲間たちとの交流により学びを深めると同時に、様々な面での目標達成が期待されています。

- 大学生の多方面の能力を育成する。例えば、コミュニケーションリーダーシップ、組織表現力、問題解決能力等、国際協力に必要な全ての能力を備えた人材
- 領域を超えた交流を通して、異なる文化、学科の背景の仲間の協力を学ぶ

UT×NTU International Study Group Program 筑波大学×臺灣大學國際讀書會

臺灣大學與筑波大學自2016年開啟國際讀書會計畫（International Study Group Program），最初以指定讀物進行小組討論、分享發表的交流形式，現以主題式討論國際時事議題同時融合文化交流，至2024年合作已邁入第8年，臺大與筑波大學也成為緊密合作的夥伴。

透過「國際讀書會」媒合臺大與筑波大學學生，由不同學科、文化背景的學生組成討論共學小組，透過同儕交流進行深度學

習，同時期待達成不同面向的目標：

- 培養大學生各項能力，如：溝通領導能力、組織表達能力、問題解決能力等，以成為具備國際合作能力之全方位人才。
- 透過跨領域交流，讓學生學習與不同文化、學科背景同儕合作與共學。
- 補足疫情期間缺乏之小組協作、時間管理等練習，學習團隊合作、專案管理等能力。
- 作為從事國際移動前之前導準備，面對未知人事物、尚未理解不同文化脈絡所產





● コロナのパンデミック期間中に実現できなかった小グループでの協力、時間管理等の訓練を補い、団体での協力及びプロジェクト管理等の能力を学ぶ。

● 国際移動前のトレーニングとして、未知のヒト、コト、モノ、異文化に直面し戸惑った時に相手の文化尊重し耳を傾ける態度を養う。

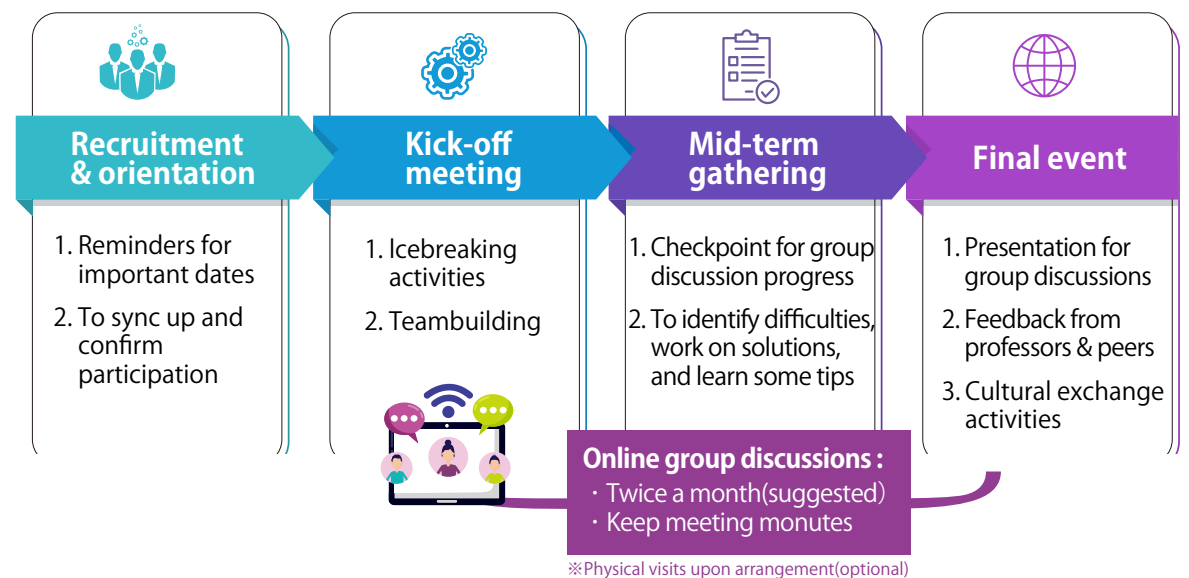
● 教師と学生の交流により、台湾大学と筑波大学とのパートナーシップを高める。

長年の協力を経て、国際読書会プロジェクトは、下に示した図のようなフレームに発展しました。学生には高度な自主学習の柔軟性をもたらすと同時に、責任者の教員は随時学生の討論の進み方を把握し問題に対応できるようになっています。

2017年に台湾大学が期末に筑波大学を訪問した後は、コロナのパンデミックのための入国規制を経て、ようやく2024年

に再び筑波大学を訪れて国際読書会の期末成果交流集会を開催することができました。この2か月の間には、デジタル濫用をテーマとしてオンラインのアイスブレイクによってお互いが知り合い、ネットのいじめや個人情報流出、情報の安全性等の問題を話し合い、文化を越えた理解を増進し、デジタル時代の挑戦と対策について話し合いました。今年の夏休みには、キャンパスガイド、文化体験、日本航空宇宙探索局（JAXA）、筑波大学の学生のファッションショー等を含めた3日間の対面交流が予定されています。

更には筑波大学の学生とともにビール・フェスティバルの体験やカラオケ等の自由行動も含まれています。対面による両校の学生の相互理解を深める交流は、学術面の大きな収穫に加えて、豊富な異文化経験と思い出になります。



生之擔憂時，建構如文化尊重、同理傾聽等態度。

● 藉師生交流深化臺大與筑波大學之夥伴關係。

經過多年合作，國際讀書會計畫已發展出執行架構如下圖，在給予學生高度自主學習彈性的同時，也讓負責帶領的師長適時確保學生討論的進度並及時解決問題。

自2017年由臺大期末參訪筑波大學後，歷經疫情邊境管制，終於在2024年再次拜訪筑波大學辦理國際讀書會期末成果交流聚會。在為期2個月的活動中，同學們以

數位濫用（Digital Abuse）為主題，從線上破冰活動開始認識彼此，學習探索包括網路霸凌、個資外洩及資訊安全等數位濫用問題，增進跨文化理解，共同探討數位時代的挑戰與對策。在今年暑假進行為期3天的實體交流，活動包括校園導覽、文化體驗、參訪日本航空宇宙探索局（JAXA）及筑波同學的 Fashion show，還有與筑波同學共同體驗啤酒節、KTV等自由活動。實體交流活動使兩校學生更加深對彼此的理解，不僅學術上有收穫，也在跨文化交流中留下豐富的經驗與回憶。



筑波大学は東京教育大学を前身とし、東京教育大学は東京師範学校を前身としていることから、当時は日本台湾交流協会の奨学生、国費留学生の大本営でした。そのため、筑波大学の校友の中には、大学で教鞭を執っている人の比率が極めて高く、それぞれの地や分野で優秀な学生を育てています。

このように学術界の空気が濃厚な筑波大学台湾校友会ですが、そこに近年お迎えした企業界のエリートである郭威伯董事長は、校友会に新しい風をもたらしました。熱心に校友会に関わり、そして副会長も務めて校友会に多くの貢献をされている郭さんは、校友会の重要な柱となっています。

校友会会報編集部は、幹事会が始まる前の時間を利用して、郭副会長にインタビューをさせていただきました。本稿では、そのインタビューの中で触れられた2024年4月の「私のスラッシュキャリア」というタイトルでの2本の講演を、再構成してご紹介します。

私のスラッシュキャリア

講演者 ● 安永バイオテクノロジー社長 郭威伯
(2021年、理工情報生命学術院 生命地球科学研究群 農学学位プログラム 博士卒業)

皆さん、こんにちは！私は郭威伯です。本日はこの公演で私のライフストーリーをご紹介させていただくことを大変光栄に存じます。本日の内容は、私のいわゆる「スラッシュキャリア」です。これは複数の職業を持ったライフスタイルのことで、「スラッシュ」とも言われています。これは、アメリカのニューヨークタイムズのジャーナリストであるMarci Alboherが、自身の人気著作「One Person/Multiple Careers: A New Model for Work/Life Success」の中で初めて使われた言葉です。現代の社会の中ではより多くの方が同時に複数の仕事をするようになっていて、多くの仕事上の責任とストレスに直面しており、また異なる領域の中に自分の居場所と価値を見出すことができるということが、その本には書かれています。私もそうした一人です。これから、私のスラッシュキャリアについてお伝えしたいと思います。

私の学びの道は順調というわけはありませんでした。1965年に国立師範大学附属高校を卒業しましたが、その時は思う大学には入れ

ず、一年の浪人生活を送ることにしました。ところが残念なことに2年目の入試の結果も思い通りにはいかず、3年目の挑戦で屏東農専の農業機械工学科に入り、1980年にやっとのことで学業を修了することができました。この期間中は多くの挫折を味わいましたが、堅い意志と努力の重要性を実感しました。

卒業してからは、海軍陸戦隊に服役し、1982年に兵役を終えました。その後、私は2つの会社で仕事をしました。まず日本のEBARA PUMPで、次にアメリカのCASE農業機械会社です。ここでの仕事により、国際的な視野を広げることができたと同時に、更に多く深く学びたいという気持ちを強く持つようになりました。そして、この時に政治大学の言語学院で英語を学び、1986年に6期の課程を修了しました。

同年、私は崇越貿易会社に入りましたが、これが私の人生の転換点になり



我的斜槓人生

講者 ● 安永生物科技股份有限公司董事長 郭威伯
(2021年、理工情報生命學術院 生命地球科學研究群 農學學位學程 博士畢業)

大家好，我是郭威伯，非常榮幸能在這個演講中，與各位分享我的人生故事。今天我想談的是我所謂的「斜槓人生」，這是一種多重職業的生活方式，也稱為「斜槓」，這個概念最早由紐約時報專欄作家Marci Alboher在她的暢銷書《不能只打一份工》中提出。她在書中提到，現代社會中，越來越多的人選擇同時從事多項工作，面對多重職責與壓力，也能在不同領域間找到自己的位置與價值。我就是這樣的一個人，這段分享將帶您走進我的斜槓人生。

我的求學之路並非一帆風順。1965年，我從國立師大附中畢業，當時由於無法順利考上大學，我決定重考一年。不幸的是，第二次我依然未能如願，於是我選擇第三次嘗試，並考取了屏東農專的農業機械工程科。終於在1980年，完成了學業。這段經歷雖然充滿挫折，但也讓我明白了堅持與努力的重要。

畢業後，我服役於海軍陸戰隊，並於1982年退伍。退伍後，我先後進入兩家公司



博士論文の指導教授北村豊と
私の博士論文指導教授北村豊教授與我

工作：第一家是日本EBARA PUMP，第二家是美國CASE農業機械公司。這段經歷讓我開闊了國際視野，也激勵我繼續追求更多的學習機會。在這段時間內，我到政大語言學院修習了英文課程，並於1984年完成6期的課程。

同年我加入了崇越貿易公司，這是我的人生轉折點。當時我被派往日本信越石英公司，接受石英玻璃製程的訓練，為期7個月。回國後，我在新竹湖口建立了工廠，並從工程師的工作開始，逐步參與多項製程。那時，我們與工研院電子所、聯華電子等合作，並於1987年TSMC成立時，開始為TSMC提供服務，有幸成為台灣半導體產業

ました。当時、私は日本の信越石英会社に派遣され、7カ月の石英ガラスの製造訓練を受けました。帰国後は、新竹の湖口に工場を建て、エンジニアの仕事から徐々に多方面の工程に関わるようになりました。その時に、工業技術研究院の電子研究所や聯華電子と協力関係が成立しました。更に1987年にTSMCが成立した時には同社にもサービスを提供するようになり、嬉しいことに台湾の半導体サプライチェーンになることができました。

仕事の経験を積み重ねていくうちに、私はただ仕事の面だけの向上に物足りなさを感じるようになりました。そこで国立清華大学の工業システムとエンジニアマネジメントを学び、1989年に修士号を取得しました。再びの学生時代の期間中には専門技能において更なる突破を実現しただけでなく、ビジネスの理解も深まりました。

1994年に入ると私は崇越科技第六事業群の総経理になり、半導体設備と中古設備の営業部門を担当し、敏盛科技のCEOも兼任しました。この間にも自身の視野を広げることがを怠らず、1996年には人生の重大決断をしました。それは、オーストラリアのシドニーへの移住し、最初の退職人生を始めることです。その当時私は自分のことを「漁夫、農夫、高爾夫（ゴルフ）」と冗談で称していたのですが、しかしながら、時間が経つにつれて自分は完全に退職した生活には向いていないことがわかり、2013年に台湾に帰り崇越石英に戻って総経理として再スタートしました。

私のキャリアの中で、2018年には鄧白氏エリート賞、2019年には最優秀企業リーダー賞（最佳企業領導人鋒獎）をいただき、ビジネス界で認めていただきました。これらは私の過去の努力に対する評価のみならず、多重な

職業を持つという自身の選択は正しかったと自信を持つことができました。

学術的な方面では、《Effects of Operational Conditions on Rice Husk Biochar Produced Using Charcoal Processing System with Internal Combustion Furnace》というタイトルで筑波大学で学術論文を発表しました。これはバイオ炭の研究で、異なる条件がバイオ炭の生産過程に及ぼす影響について考察したのですが、この論文を発表したことは、私にとっては大変意義深いことでした。というのは、この論文は私の学術領域の成就であると同時に、エコとSDGsの分野に足を踏み出す大きな一歩となったからです。筑波大学でのこの期間は、更に多くの知識と技能を得る機会となったのみならず、世界への視野を広げ、グローバルな環境問題への一層深い理解と関心を持つきっかけとなりました。

それに加えて、私は台湾の半導体業界と力を合わせる中で、ビジネスの視野を広げるだけではなく、半導体業界の発展と技術の突破をこの目で見てきました。その経験のおかげで、如何に専門知識と世界発展の趨勢を結合して更に大きな影響力を発揮するかを常に考えるようになりました。

この多くの経験こそが私のスラッシュキャリアを形成したと確信しています。ビジネス面でも学術面でも、多重なキャリアを持つ者の価値を実践してきました。私の人生は常に順調であったとは言えず、道草を食うように曲がりくねった道を歩んできましたが、これらこそが、私のスラッシュキャリアを作ってくれたのです。自身の学びの経験と職場での経験を皆さんにお伝えすることによって、多重な立場の間で自身だけの価値を見つけてきたということ、皆さんにお伝えしたいと思います。



第 28 回台湾校友会の幹事会、左から服部美貴、余書農、本人、邱若山會長、孫寅華、林黛姬、謝昊容、台湾オフィス林さん
第 28 次台灣校友會的幹事會，左起服部美貴、余書農、本人、邱若山會長、孫寅華、林黛姬、謝昊容、台灣辦事處林秘書

的供應鏈。

隨著工作經驗的積累，我開始不滿足於僅僅在工作中的提升，所以決定要進一步回到校園深造。1987年，我進入了國立清華大學的工業工程與工程管理碩士學程，於1989年完成了碩士學位。這段學術旅程讓我不僅在專業技能上有了更大的突破，也對事業有了更深刻的理解。

進入1994年，我轉任崇越科技第六事業群總經理，負責半導體設備及中古設備的銷售部門，並兼任敏盛科技的執行長。這些年來，我不斷擴展自己的視野，並在1996年做出了人生的重大決定——移民到澳洲雪梨，開始了第一次的退休生活。當時，我常戲稱自己是「漁夫、農夫、高爾夫」。然而，隨著時間的推移，我發現自己並不適合完全退休，因此在2013年回到台灣，並重新回到崇越石英，擔任總經理。

在我的職業生涯中，我曾經獲得了一些業界的認可。2018年，榮獲了鄧白氏菁英獎，2019年被授予最佳企業領導人鋒獎。這些獎項不僅是對我過去努力的肯定，也讓我

更加堅信自己選擇多重職業生涯的正確性。

在學術方面，我有幸在筑波大學發表了一篇學術論文，題為《Effects of Operational Conditions on Rice Husk Biochar Produced Using Charcoal Processing System with Internal Combustion Furnace》，這是關於稻殼生物炭的研究，旨在探討不同運作條件對生物炭產生過程的影響。這篇文章的發表對我來說意義非凡，因為它代表了學術領域的成就，也標誌著我跨足環保與可永續發展領域的一大步。筑波大學的這段經歷，不僅讓我擁有了更多的知識和技能，還拓寬了我的國際視野，讓我對全球環境議題有了更深刻的了解與關注。

此外，我還參與了和台灣半導體業的合作，在合作中拓展了我的事業視野，見證了半導體行業的發展和技術突破。這些經歷也促使我不斷思考如何將專業知識與世界發展趨勢相結合，發揮更大的影響力。

我相信，正是這些多元的經歷構成了我的斜槓人生。無論是在事業上還是學術上，我都努力實踐著多重職業身份的價值。我希望將自己的學習經驗與職場心得分享各位，我的人生雖然不是一帆風順，彎彎曲曲走了不少看似冤枉路，但正是這些構成了我的斜槓人生，也讓我在多重身份之間找到了自己獨特的價值。



鄭成功が結ぶ、長崎と台湾の400年の縁

文 ● 朝日新聞長崎総局（元・台北支局）
西本 秀（にしもと・ひでし）（1994年、国際関係学類卒業）

台北で暮らしていた4年半の間、筑波大学台湾校友会の皆さんとの交流は、とても思い出深い経験になりました。日本から離れた台湾の地で、学生時代の縁を再確認する場となり、心強く感じました。

2021年に日本に帰国して、3年余りが過ぎました。私は現在、日本の長崎県で働いています。新しい勤務地において、先日、海の向こうの台湾とのつながりに出会いま



した。このコラムでは、台湾と長崎の400年の縁について、ご紹介します。

長崎県北部に平戸市という街があります。平戸島という島を中心とした、漁業や水産、観光を産業とする人口2万6千人の地域です。現在は小さな地方都市ですが、かつては、東シナ海を通じて、中国やアジア、世界につながる国際交易の港でした。

鄭成功所結下の長崎與台灣400年の縁分

文 ● 朝日新聞長崎総局（原：台北支局）
西本 秀（國際關係學類 1994年畢業）

在台北生活的四年半期間，我與筑波大學台灣校友會的大家的交流成為了我非常難忘的經歷。在離開日本遠至台灣這片土地上，重新確認了學生時代的緣分，感到非常安心。

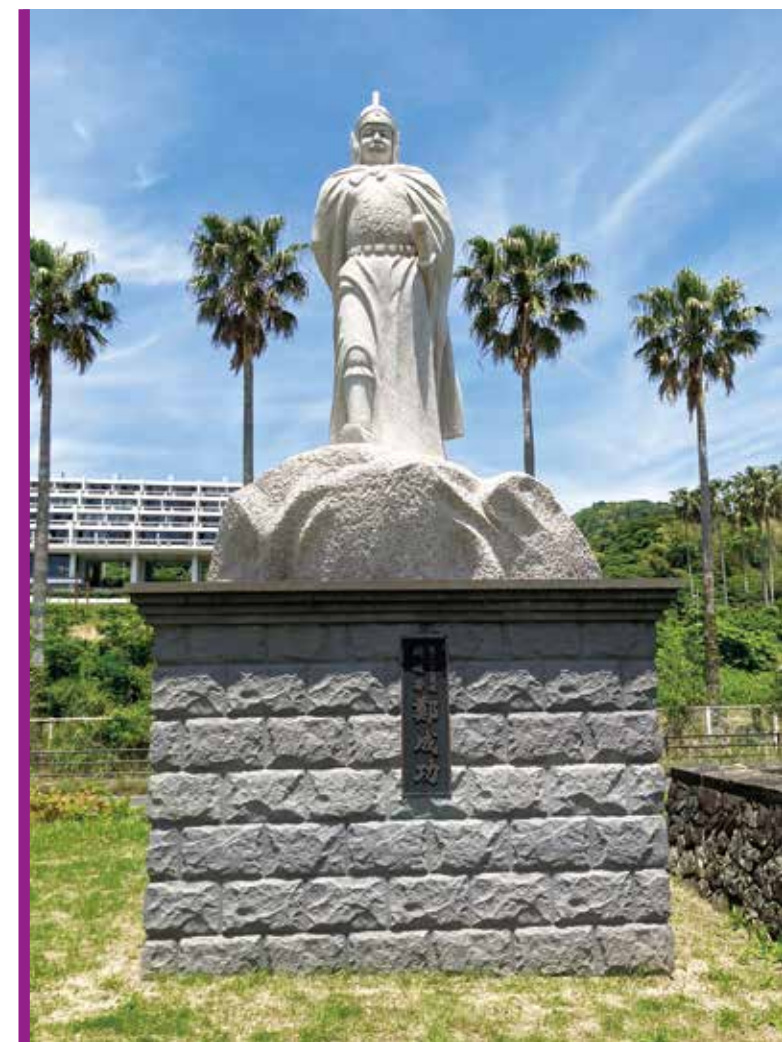
從2021年我回到日本後，轉眼間已經過去了三年多，現在我轉調在長崎縣工作。在長崎這個新的工作地點，最近遇到了與海的另一端——台灣的聯繫，因此我想在這篇專欄中，介紹這份台灣與長崎之間400年緣分。

長崎縣北部有一個名為平戸市的城市，這個以平戸島為中心，依靠漁業、水產和觀光業為主的地區，人口約2萬6千人。如今是一個小型地方城市，但曾經卻是通過東海與中國、亞洲及世界連接的國際貿易港口。

在這個島上，有一座名為「鄭成功紀念館」的建築，由朱漆的柱子和鮮明的分靈廟等構成。在台灣家喻戶曉的英雄——鄭成功，就是在1624年出生在平戸島，而這裡就是介紹鄭成功生平的紀念館。

鄭成功的父親是來自福建省的貿易商人鄭芝龍，母親則是平戸出身的田川松。當時鄭成功與父母之間是用什麼語言溝通的呢？是福建省的閩南語？是日本的平戸方言？還是有其他共通的語言？這點至今並沒有明確的答案。

鄭成功出生於1624年7月14日。去年恰逢誕生400周年，所以平戸市舉行了以「誕



平戸島にある鄭成功の立像
在平戸島の鄭成功雕像

生400周年事業」為名的講座、燈會與中國和台灣的交流等多種紀念活動。我也親身前往參與了此次盛會。

從長崎市到平戸市，路程超過100公



鄭成功の「分靈廟」
鄭成功的「分靈廟」

その島に「鄭成功記念館」と呼ばれる、朱塗りの柱が鮮やかな分霊廟などで構成される施設があります。台湾のだれもが知っている英雄、鄭成功が1624年に生まれたのが、この平戸島でした。記念館は、鄭成功の生涯を紹介する施設です。

鄭成功の父親は、福建省出身の貿易商人の鄭芝龍、母親は平戸出身の田川マツ、と伝えられています。当時、父親と母親と鄭成功は、どんな言葉を話して、互いに意思疎通をしていたのでしょうか。福建省の閩南語なのか、日本語の平戸方言なのか、それとも、もっと違う共通語があったのか。それは、はっきりと分かっていません。

鄭成功が生まれたのは、1624年7月14日。ちょうど生まれて400年を迎えた昨年、平戸市では「生誕400周年事業」と名付けられた講演会やランタンフェスティバル、中国側や台湾側との交流など、さまざまな記念イベントが開かれました。私も現地へ、見学に出かけました。

長崎市から平戸市までは、100キロ以上の道のりがあり、自動車で出かけると2時間近くかかります。平戸島には、長崎側から長さ600メートルの平戸大橋が架けられており、美しい海と空の風景を眺めながら、自動車で海上を渡ることが出来ます。

記念館は平戸島の東側、海岸に近い高台にあります。生誕400年に合わせて、分霊廟など一部が建て替えられました。真新し



「成功」のお守り
「成功」御守

い廟には、亡くなった鄭成功がまつられている台湾・台南市の「延平郡王祠」から、霊を分けてもらったとされています。中には、貫禄のある鄭成功の座像が安置されていました。

記念館内には、鄭成功の功績などを伝える展示もあります。おやっと驚いたのは、館内に飾られた垂れ幕を見たときでした。

現在の台湾総統である頼清徳氏が、台南市長を務めていたときに記念館を訪問し、寄贈したものだそうです。「丙申年」と記されており、2016年のことです。こうした縁もあり、平戸市と台南市は昨年4月、「友好交流協定」を結びました。台湾グルメを味わえる交流会も昨年、開かれています。

記念館の人気のお土産は、鄭成功の名前にちなんで考案された「成功お守り」です。就職や受験などの「成功」を願って、お守りを授かる人が多いそうです。私も記念に一つをいただきました。

生誕400年の節目だけに、来館者も増えています。私が訪れたときは、ちょうど中国・上海から訪れた観光客が見学をしていました。館内の訪問者の記帳を見ると、台湾からも多くの人が訪れています。

筑波大学台湾校友会の皆さんも、ぜひ長崎や平戸にいらっしゃって下さい。歓迎します。



頼清徳氏が贈った垂れ幕（名前が記されている）
頼清徳總統致贈的布幔（上面有頼總統大名）

里，駕車前往大約需要兩個小時。平戸島上架設著從長崎方向延伸至島嶼，長達600米的平戸大橋，在橋上可以一邊欣賞美麗的海景和天空，一邊駕車橫渡海面。

記念館位於平戸島東側，靠近海岸的高台上。為了此次誕生400年活動，部分設施如分靈廟等進行了重新建造，新建的廟宇中，據說從台灣台南市的「延平郡王祠」分靈而來的鄭成功的靈位得以安置在此，所以有尊威嚴的鄭成功坐像。

記念館内也有些展示鄭成功功績的展品，我感到非常驚訝的是，館内懸掛的布幔是當時的台南市長、台灣現任頼清徳總統捐贈的，布幔上寫著「丙申年」，即為2016年。由於這樣的緣分，平戸市與台南市在去年4月簽訂了「友好交流協定」，並舉行了品嚐台灣美食的交流會。

記念館裡很受歡迎的紀念品是以鄭成功的名字命名的「成功御守」。聽說許多人為了祈求事業或考試「成功」，很願意佩戴這個「成功御守」，所以我也收藏了



鄭成功記念館
鄭成功記念館

一個做紀念。

由於適逢鄭成功誕生400年的重要時刻，前來參觀的訪客絡繹不絕，我參觀時也正好遇到了一些來自中國上海的觀光客在館內參觀，而且通過館內的訪客登記簿可以發現，也有非常多來自台灣的訪客。

筑波大學台灣校友會的朋友們，有機會請一定要來長崎或平戸喔，歡迎你們！



英語も大丈夫

文 ● 黃德宇 (社会国際学教育プログラム (TISS))

楽しい時間はいつも特にはやく過ぎてしまいます。筑波大学での留学生活も、あっという間にすでに二年になろうとしています。

現在私は筑波大学社会国際学教育プログラム(略称TISS)二年生に在籍していて、法学、政治学、経済学、社会学等多方面に跨るカリキュラムで学んでいます。特定の専攻を決める決まりはありませんが、こうした学習方針のおかげで無限に広がる学びの海に身を置き、興味のある科目について深く学べると同時に、国際的な観点から養った知識を使って自分の影響力と競争力を高めることもできます。

もう一つの大きな魅力は、日本のスーパーグローバル大学計画の産物として、英語が主要な授業の言語となっていることで、それは私が筑波大学を留学先に選んだ理由の一つでもあります。一年生の時に必修科目として日本語を学ぶほかは、ほとんどは主に英語で授業が行われるので、日本語能力がゼロの外国人であっても無事に卒業できます。しかし、日本語が上手く話せれば、授業以外の日常生活や日本の人と交流する際に大変便利であることは確かです。

他に、筑波大学には様々な国からの留学生と共に学ぶ環境があり、キャンパス内では世界各地から来た人たちが多様な文化が花を咲かせています。例えば、私の同学年の授業にはトルコ、ケニア、ミ



入学式
入學典禮

ャンマー、カザフスタンからの学生がいて、まるで文化のるつぼです。日本に留学するというのは、ただ自分の好きな日本語文化に触れるというだけではなく、このようにグローバルな環境の中で日本にいながらまるで欧米に留学したような雰囲気があります。

英語を使う国への留学を考えている方には、日本語が全くできない人であっても筑波大学の英語によるプログラムをお勧めします。もし入学できたら、英語を使って学業を修めるだけではなく、欧米に留学する経済的な負担も軽減できると思いますよ。



英語嘛欸通

文 ● 黃德宇 (The Undergraduate Program of International Social Studies (TISS))

快樂的時間總是過得特別快，一轉眼在筑波大學留學的時間已經邁向第二年。

我目前就讀筑波大學的社會國際學系二年級（簡稱TISS），課程內容主要著重在法學、政治學、經濟學、社會學，涵蓋的科目相當多元。雖然沒有學校沒有要求我們專攻特定的主修，但這樣的學習方針使我們在浩瀚無窮的學海之中能探索並尋找自己有興趣的科目的同時又能運用從國際觀養成的知識去提升自身的影響力與競爭力。

作為日本超級全球大學計畫的產物，另一大亮點是以英文為主要授課語言，也是我留學筑波大學的原因之一，除了一年級有必修日文課之外，大部分的課程都是以英文為主 就算日語能力為零的外國人也可以順利畢業，不過一口流利的日文確實能使在課業以

外的日常生活和與在地日本人交流更順利且便利。

此外，在筑波大學擁有非常多元的留學生環境，校園內可以看到來自世界各地的人在此一同百花齊放。以我同屆同學為例，不管是來自土耳其、肯亞、緬甸、抑或是哈薩克等國家的同學都齊聚在同一門課程中，宛如是文化大熔爐。來到日本留學不只能接觸個人喜愛的日本文化，也能享受如此國際化的課程，彷彿在日本也能體驗到歐美留學氛圍。

推薦給各位考慮出國去英語系國家留學的同學，就算對日文一竅不通也能來報考筑波大學英語授課的相關科系。有幸考進來的話，不但能用英文在學校打天下，或許還能省下不少去歐美留學的費用。



2024 年 6 月、留学生会の仲間たちと大洗磯崎神社を訪れました（左から 1 番目が筆者）
與留學生會的同學們於 2024 年 6 月前往大洗磯崎神社（左 1 筆者）

私の留学生活

文●黄琪鈞（人間総合科学研究科 教育学学位プログラム博士前期課程）

この文を書いている時、私は教育学学位プログラム博士前期課程の二年生です。この博士前期課程には「次世代学校教育創成サブプログラム」「教育基礎科学サブプログラム」「国際教育サブプログラム」の3つがあり、私が所属しているのは、研究者の育成を目的とした「教育基礎科学サブプログラム」です。

授業の中では、論文の進捗についての批評や理解しにくい内容についての意見交換など、論文に関する討論をします。それぞれの学生の関心のある領域および研究対象は様々であるため、授業の中で異なる領域からの観点や異なる国の実例等を聴くことができます。私は日本と台湾の幼児教育制度について研究していますが、他にはアメリカ、イギリス、韓国等々の国のクラスメイトがそれぞれの国の義務教育、中等教育、高等教育等の内容について研究してい

ます。そのため、この授業でのディスカッションによって論文の書き方を学ぶことができることに加えて、異なる角度から現在の教育問題や教育の理想のあり方等について考えることもできます。

更に、ここでは様々な学習機会が設けられていて、私は2024年には研究科によって開催された国際学生シンポジウムに参加しました。そこでは、他の国の大学の学生とともにそれぞれの教育問題について討論し、交流しました。それにより、自身の国際的視野を広げることができただけではなく、外国語でのコミュニケーション能力とプレゼンテーションの技巧を磨くことができました。

筑波大学での留学生活では、専門知識と研究能力を高めることができましたが、特に強調したいのは人と人のインターアクションです。学業面での様々な困難を解決し充実した学生生活を送ることができるのは、筑波大学の先生方や友人たちの励ましと支えのおかげです。筑波大学に留学する皆さんの学業成就と、多くの収穫を携えて人生の次のステップに進めることをお祈りしております。



2024年国際学生セミナーでの記念写真
2024年国際学生研討會上發表的留影



我的留學心得

文●黄琪鈞（人間総合科学研究科 教育学学位プログラム博士前期課程）

寫這篇文章時，本人正就讀教育學學位博士前期課程二年級。教育學學位的博士前期課程分成三個組別，分別為「次世代学校教育創生」、「教育基礎科学」、「国際教育」，而我目前所屬的組別是以培養研究者為目的的「教育基礎科学」。

課堂上我們會針對論文進行討論，包括對論文內容進行批判，或是針對難以理解的內容進行意見交流，由於每個人關心的領域及研究的對象相當多元，所以總能在課堂上聽見不同領域的觀點或是不同國家的實例，像我自己是研究日本與台灣的幼兒教育制度，另有同學是研究美國、英國、韓國等等的國家，並針對該國的義務教育、中等教育、高等教育等等的內容進行探究，因此透過課堂討論，除了能學到論文的寫作方法之外，也能讓人以不同的角度去反思現有的教育問題以及教育的理想樣貌。

此外，系上也會提供各式各樣的學習機會，我在2024年參加了系上舉辦的國際學生研討會，在研討會上，與其他國外大學的學生討論各國的教育議題並進行研究交流，藉此除了拓展自己的國際視野之外，也磨練了外語溝通能力跟發表的技巧。

在筑波大學的留學生活中，除了能充分精進自己的專業知識以及研究能力之外，人與人之間的互動也是我特別想提起的部分，我很感謝在筑波大學裡遇到的老師及同學們，因為有大家的鼓勵和協助，



修士入学式当日に撮影された写真
碩士入學典禮當天所拍攝的照片

我才能順利解決求學上的困難，並度過充實的留學生活。祝福在筑波大學留學的同學們都能順順利利完成學業，帶著滿滿的收穫踏上人生的下一段旅程。



校友の近況 (敬称略)

恭賀
おめでとうございます
(祝)



校友 王尊彦

現任
国防安全研究員 副研究員
國防安全研究院 副研究員



校友 孫蓉萍

現任
WEALTH MAGAZINE 編集長
財訊雙週刊 主編



校友 長田 健宏

恭賀就任
United Microelectronics Corporation / UMC
技術開発モジュール部 エンジニア
聯華電子 技術開發模組處 工程師



校友 服部 美貴

恭賀榮升
国立台湾大学 日本語文学系
アシスタント教授
國立臺灣大學 日本語文學系
助理教授

校友近況



校友 渡邊 浩志

現任
国立陽明交通大学 電機工程学系 教授
國立陽明交通大學 電機工程學系 教授



校友
薛承哲

恭賀就任
長築実業株式会社
特別アシスタント
長築實業股份有限公司
特助



校友
林黛姬

恭賀榮退
新北市中和区復興国民小学
校定年退職
新北市中和區復興國民小學
退休



校友 大庭 良介

恭賀榮升
筑波大学 教育推進部 教授
筑波大學 教育推進部 教授

台湾野球音楽会

2024年10月14日、筑波大学台湾校友会の一行は、台北国家音楽ホールで開催された「台湾の野球詩編」に参加してきました。

芸術文化とスポーツを繋ぐことを目的に始められたこのイベントでは、様々な相乗反応がありました。これは野球と音楽を結び付けた台湾初となる大型パフォーマンスイベントで、主催団体である八角塔男声合唱団の趣向を凝らした一曲一曲の演出となっており、また耳馴染みのある野球関連音楽によって台湾野球の発展の歴史を振り返ることができました。

台湾の野球の発展は日本との関係が深いことから、曲目には「嘉義農林校歌」「早慶戦対戦曲」「六甲おろし」等の日本の歌も含まれており、音楽会に日本の雰囲気を感じることができました。舞台前方では楽曲に合わせて歴史に残る重要な場面が映し出され、その多くの写真の主演は我らの林華章会長であることが一目でわかりました。改めて林華章会長の台湾野球界への



ご貢献の大きさを感じることができると同時に、同じ筑波人として私たちが誇りに思いました。更に、まるで球場にいるかのような、名スポーツキャスターの徐為元さんによる巧みなナビゲートも感動的でした。

この音楽会に参加させていただけたのは、筑波大学台湾校友会の余書農秘書長のご尽力のおかげです。今回の八角塔男声合唱団の団長である鄭睦群さんが高校時代の親しい先輩であるというご縁に加え、より多くの校友会メンバーのこのイベントへの参加が叶うように、余書農秘書長が友人を介して桃園市スポーツ発展基金会理事長の呉徳威さんからのご協賛をいただけてくださったのです。

この日足を運んだのは、郭威伯副会長ご夫妻およびそのご友人、余書農秘書長、劉宇帆秘書長、そして校友の張文全さん、蔡易霖さん、林秘書です。筑波大学台湾校友会を代表して、桃園市スポーツ発展基金会理事長の呉徳威さんにはご協賛およびこの素晴らしい夜を過ごさせていただいたことに改めて感謝申し上げます。



台灣棒球音樂會

2024年10月14日、筑波大學台灣校友會一行人參加了在台北國家音樂廳舉辦的「台灣的棒球詩篇」。

此活動為藝文活動與體育項目結合的創舉，碰出了不同凡響的火花。結合了棒球與音樂的大型表演活動可說是全台首例，主辦單位八角塔男聲合唱團非常用心的安排每一首曲目，也透過我們耳熟能詳的棒球相關音樂帶著我們回顧了台灣棒球發展的歷史。

由於台灣棒球發展與日本有緊密的關係，所以曲目中也包含了「嘉義農林校歌」、「早慶戰對戰曲」、「六甲おろし」等日文的曲目，讓音樂會增添了不少日本味。音樂會隨著樂曲旋律，也同時在前方放映歷史重要時刻的紀念照片，多次我們都一眼就認出，螢幕上的主角正是我們熟悉的林華章會長，再次深深的感受到林華章會長對台灣棒球的貢獻，也讓同樣身為筑波人的我

們感到與有榮焉。此外，名主播徐展元擔任音樂會的導聆人，在音樂殿堂中呈現有如身在球場般卻又不突兀的熟悉話語，帶來滿滿的感動。

此次音樂會活動的成行主要歸功於余書農秘書長的熱心，因為此次八角塔男聲合唱團團長鄭睦群先生是他高中時期私交甚篤的學長，而且為了讓更多校友可以參與活動，余書農秘書長透過友人引薦，接受了桃園市體育發展基金會執行長吳徳威先生的贊助。本次活動參與的有郭威伯副會長夫婦及其親朋好友、余書農秘書長、劉宇帆秘書長、張文全校友、蔡易霖校友、林秘書，在此要謹代表筑波大學台灣校友會感謝桃園市體育發展基金會吳徳威執行長吳徳威先生贊助門票，讓我們渡過美好的棒球音樂之夜。



親睦会

2024年も何かと理由をつけて、校友たちが親睦を深めました。以下はそのほんの一部ですが、その楽しい様子をお伝えします。



2月は新年会と称して、台北の鰻料理店「江戸川」に集いました。5月にはGIP-TRIAD、Dual Degreeで台湾大学で学んでいる現役の学生さんたちと賑やかに開催し、学生さんたちが社会に出る前に必要な人脈作りにも力になった校友も。（写真1）7月には彼らの壮行会を兼ねて12名で賑やかに開催。（写真2）



8月にも非常に貴重な機会がありました。ちょうど大庭先生、山田先生、田中先生が成功大学に出張でいらっしゃったので、南部の校友たちは台湾料理の名店「阿霞飯店」で食事会を開きました。（写真3）。



10月には台湾校友会の幹事のお1人でもあり、特に台湾在住日本人の繋がりに大きなご貢献をくださった大先輩高木さんのご帰国に伴う壮行会を、台湾校友会邱会長のご出席もいただき行いました。（写真4）



更に、11月には研究のために来台された筑波大学名誉教授の砂川有里子先生を、現在台湾の大学で日本語教育に携わっている先生の教え子たちおよび校友であり人気YouTuber日本語教師で囲み、思い出話や現状報告を兼ねた楽しいひと時を過ごしました。（写真5）

筑波大学での学生生活の思い出は、国や世代を超えて校友を繋げてくれています。他にも筑波の仲間で集まった皆様の情報シェア大歓迎です！！（ご連絡は台湾オフィスまで）

親睦會

2024年這一年間，我們校友們依然藉著各種理由聚會，增進了彼此的聯繫。以下是其中的一部分，讓我們分享這些愉快的時光。



2月，我們以新年會為名，在台北的鰻魚料理店「江戸川」聚餐。5月，我們與正在台灣大學就讀的GIP-TRIAD三國學程和雙學位的學生們熱鬧地舉行了聚會，幫助學生們在進入社會之前建立了必要的人脈。（照片1）7月，我們為了這些學生舉行了壯行會，12人齊聚一堂，氣氛熱烈。（照片2）



8月也有個十分難得的機會，剛好大庭老師、山田老師、田中老師都來到了成功大學出差，所以南部的校友們就在台菜名店阿霞飯店宴請貴客。（照片3）



10月，我們舉行了高木先生的壯行會，他不只為台灣校友會的幹事，而且對於台灣在駐的日本人之間的聯繫有巨大的貢獻，當天並且邀請了台灣校友會的邱會長出席（照片4）。



此外，11月我們與來台進行研究的筑波大學名譽教授砂川有里子老師，現於台灣大學教授日本語的校友們，還有人氣YouTuber日本語教師一起聚會，分享思念往事並報告近況，度過了歡樂的時光（照片5）。



在筑波大學的學生時光，跨越國家與世代的回憶，將我們校友緊密相連。也歡迎其他在筑波的校友們分享更多資訊！！（請透過台灣辦事處聯絡）

筑波大学台湾オフィス便り

文●小金澤禎史（筑波大学台湾オフィス所長）

これまでに筑波大学台湾オフィス所長を務めていただいております、大庭良介先生、阿部淳一ピーター先生、福重瑞穂先生よりバトンを受け、2024年度より台湾オフィス所長を務めております小金澤禎史と申します。

筑波大学は、1973年の開学以来、「開かれた大学」として、国際的な教育研究の展開を重要な使命の一つとしてまいりました。特に台湾との関係においては、長年にわたり深い絆を育んできました。筑波大学は、現在、台湾の15大学と学術交流協定を結び、活発な学生交流、研究協力を行っております。

そういった背景の下、当台湾オフィスは、2014年の設立以来、筑波大学と台湾の高等教育機関との架け橋として、さまざまな活動を展開してまいりました。具体的には、学術交流の促進、留学生の受け入れ支援、共同研究プロジェクトの推進、両国の研究者間のネットワーク構築、そして、筑波大学台湾校友会およびTsukuba Universal Alumni Network (TUAN) を通しての同窓会組織・同窓生サポートなど、多岐にわたる取り組みを行っております。

近年、グローバル化が進む中で、国際的

な教育・研究協力の重要性はますます高まっています。特に、日本と台湾は、民主主義や自由な学術研究という共通の価値観を持ち、また地理的にも文化的にも近い関係にあります。このような恵まれた環境を活かし、両国の学術交流をさらに深化させることは、私たちの重要な使命です。

さらに、本学は、2024年12月には新たに「学長を囲む会in台湾」を台湾にて開催しました。「学長を囲む会」は、筑波大学と社会との連携を深めることにより社会貢献の基盤を築くことを目的として、2009年に日本国内にて第1回が開催され、現在まで、300社を超える企業・団体にご参加いただいております。今年度は、本会を台湾にて開催することにより、台湾現地企業および台湾に支社を構える日系企業との連携を深めることで、産学連携の新たな可能性を台湾にて探る試みをスタートさせております。

当台湾オフィスでは、今後も、筑波大学と台湾の高等教育機関、産業界および同窓生との連携を一層強化し、より多くの実りある交流が実現できるよう、教職員一同、全力で取り組んでまいります。皆様のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



筑波大學台灣辦事處

文●小金澤禎史（筑波大學台灣辦事處處長）

我是小金澤禎史，繼大庭良介教授、阿部淳一Peter教授和福重瑞穂教授之後，從2024年度起擔任筑波大學台灣辦事處處長。

筑波大學自1973年創校以來，一直以「開放的大學」為宗旨，將推動國際教育研究視為重要使命之一。特別是與台灣的关系，多年來培養了深厚的情誼。目前為止，筑波大學與台灣15所大學簽訂了學術交流協定，並進行積極的學生交流與研究合作。

在這樣的背景下，台灣辦事處自2014年成立以來，一直擔任筑波大學與台灣高等教育機構之間的橋樑，開展各種活動。具體而言，我們致力於促進學術交流、支援留學生、推動共同研究計畫、建立兩國研究人員之間的網絡，並通過筑波大學台灣校友會及Tsukuba Universal Alumni Network (TUAN) 進行校友會組織和校友支援等多元的工作。

近年來，隨著全球化的推進，國際教育和研究合作的重要性日益增加。特別是日本與台灣兩國，共同擁有民主、自由學術研究等價值觀，且在地理和文化上也有著緊密的關聯。善用這樣有利的環境，進一步深化兩國的學術交流，是我們的重要使命。



此外，本校於2024年12月在台灣舉辦了第一次「校長座談會in台灣」。「校長座談會」活動於2009年首次在日本舉行，旨在加強筑波大學與社會的聯繫，建立社會貢獻的基礎，迄今已有超過300家企業和團體參與。今年，我們首次將此活動在台灣舉行，並希望加強與台灣企業及在台日系企業的合作，探索產學合作的新機會。

台灣辦事處未來將繼續加強本校與台灣高等教育機構、產業界及校友之間的聯繫，並全力以赴促進更多成果豐碩的交流，衷心希望能夠得到各位的支持與合作。（譯：林佳瑤 筑波大學台灣辦事處）



台湾オフィスの活動は、以下のウェブサイトで紹介しています。

🌐 ホームページ：<http://www.global.tsukuba.ac.jp/overseas/taiwan>
 📘 facebook：<https://www.facebook.com/ut.taiwan.office/>

Instagram :



台灣辦事處的各项活動，請見以下網站：

🌐 官網：<http://www.global.tsukuba.ac.jp/overseas/taiwan>
 📘 臉書：<https://www.facebook.com/ut.taiwan.office/>

Instagram :



筑波大学台湾校友会規約

- 【名称】
第1条 本会は「筑波大学台湾校友会」と称する（英語名は University of Tsukuba Taiwan Alumni Association とし、UTTAA と通称する）。
- 【趣旨】
第2条 本会は、会員相互の親睦をはかり、日台両国の相互交流と友好発展に寄与することを趣旨とする。
- 【活動】
第3条 本会は、第2条の目的を達成するため、名簿作成、校友及び筑波大学との交流
協力、親睦会、その他、会員が提案する活動などを行う。
- 【会員】
第4条 本会は、下記の該当者で構成する。
（1）筑波大学または前身となる大学の学群・大学院の卒業・修了者
（2）筑波大学に学位請求論文を提出し学位を認定された者
（3）一ヶ月以上筑波大学に在籍し学習・研究等を行った者
（4）一ヶ月以上筑波大学に滞在し教育・研究等に從事した者
（5）本会の入会希望者は、幹事会の定めるところにより入会の申し込みを必要とする。
- 【賛助会員】
第5条 本会の発展に多大な貢献のあった者及び本会の趣旨に賛同する者で、会長・副会長等が認める者は賛助会員となることができる。
- 【退会】
第6条 会員は個人の事情でいつでも退会できる。
- 【総会】
第7条
（1）総会はすべての会員をもって構成する。
（2）総会は次の事項について決議する。
一 会員の除名
一 会長、副会長の選任または解任
一 会則の変更
一 会計監査の承認
（3）総会は定時総会として年1回開催するほか、必要がある場合に開催する。
（4）総会は幹事会の決議に基づき会長が招集する。
（5）総会の議長は会長がこれに当たる。
（6）総会における議決権は、会員1名につき1票とする。
（7）総会の決議は総会出席者の議決権の過半数をもって行う。
（8）会員は代理人によってその議決権を行使することができる。
（9）総会への発議は幹事会を通しておこなう。
（10）総会の議事については、議事録を作成し、議長が署名押印する。
- 【役員】
第8条
（1）本会は役員として会長1名、副会長若干名、幹事長を置く。
（2）本会は名誉会長、名誉副会長及び顧問を置くことができる。
（3）会長、副会長は総会の決議によって選出する。
（4）顧問は幹事会によって選任する。
（5）名誉会長、名誉副会長は幹事会によって推薦され、総会の承認を持って選任する。
（6）会長は幹事会を組織し、本会の活動を管轄する。
（7）副会長は会長の職務を補佐し、会長が職務遂行しか

- ねるときにその職務を代行する。
（8）会長、副会長の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 【幹事会及び事務局】
第9条
（1）本会の運営のため幹事会を置く。
（2）幹事会の事務局を筑波大学台湾オフィスに置く。
（3）幹事会は、会長、副会長、事務局長、副事務局長若干名および事務局員、筑波大学台湾オフィス構成員より構成される。
（4）事務局長は、会長によって選任する。
（5）事務局長は、副事務局長、事務局員を選任する。
（6）幹事会は、次の活動を行う。
一 本会の活動執行の決定
一 本会の会計監査
一 事業報告書の作成
一 総会の開催
一 会員名簿の管理
一 筑波大学との連絡調整
一 会員からの意見をとりまとめ、会則、附則変更などを総会へ発議する
- 【会費】
第10条 本会の会費は附則に定める。また、総会開催など実際の活動内容に合わせ、適宜徴収もしくは厚志を募るものとする。
- 【会計】
第11条
（1）本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり12月31日に終わる。
（2）本会の会計は事務局にて管理し、幹事会はこれを監査し、総会の承認を得る。
（3）本会に納められた会費および寄付は税金控除の対象とはならない。
- 【除名】
第12条 会員が本会の目的に逸脱する行為又は本会の名誉を傷つける行為を行ったときは、幹事会の議決を経て、その資格を失う。幹事会は総会に報告する。
- 【会則の発効】
第13条 本規約は2016年2月20日に校友会設立式で可決され、2016年2月20日より発効する。
- 【規約改正】
第14条
（1）この会則は総会の議決によって変更することができる。
（2）本規約の解釈権は幹事会に属する。
- 【附則の取扱い】
第15条
（1）本会則は会則に矛盾しない限りにおいて本会の運営のために附則を置くことができる。
（2）附則は総会の議決によって変更することができる。
- 附則
1 本会の最初の会長は林華章とする。
2 本会の最初の副会長は潘進丁と邱若山とする。
- 附則
【会費】
第1条
（1）本会の入会金を1000台湾ドルとし、入会時に一度支払うものとし、終身会員となる。

筑波大學台灣校友會章程

- 【名稱】
第一條 本會名稱為”筑波大學台灣校友會”（英文名稱為 University of Tsukuba Taiwan Alumni Association，英文縮寫為 UTTAA）。
- 【宗旨】
第二條 本會之宗旨在於服務會員，增進會員之間的友誼，期能對台日兩國之間的國際交流有所貢獻。
- 【活動】
第三條 本會為達成第二條之目的，將致力於會員名冊的製作、校友間的以及與筑波大學之間的交流，舉辦聯誼會及會員提議之活動。
- 【會員】
第四條 本會會員由以下成員組成：
（1）在筑波大學或東京文理科學大學、東京教育大學、圖書館情報大學之大學部或研究所畢業者
（2）向筑波大學提交論文獲得學位者
（3）在筑波大學從事學習或研究一個月以上者
（4）在筑波大學從事教育或研究一個月以上者
（5）完成秘書處所訂之入會申請程序者。
- 【贊助會員】
第五條 對本會的發展做出重大貢獻及贊同本會宗旨者，經本會會長、副會長等合議後，可成為本會贊助會員。
- 【退會】
第六條 會員可自主隨時退會。
- 【總會】
第七條
（1）總會由所有的會員所組成
（2）總會將決議以下事項：
一 會員之除名
一 會長、副會長的選任或解任
一 會則之變更
一 會計監查之承認
（3）總會定期一年召開一次，必要時可加開臨時會。
（4）總會以幹事會的決議為基礎，由會長召集。
（5）總會的議長由會長擔任。
（6）總會の決議權，每位會員各一票。
（7）總會之決議須出席會員之半數以上同意始為有效。
（8）會員の決議權行使可委託代理人。
（9）總會の新議題將透過幹事會提案。
（10）總會の議事將做成會議記錄，由議長簽名蓋章。
- 【幹部】
第八條
（1）本會的幹部將設置會長1名、副會長若干名、並設置秘書長。
（2）本會可設置名譽會長、名譽副會長以及顧問。
（3）會長、副會長由總會之決議選出。
（4）顧問由幹事會推薦聘任。
（5）名譽會長、名譽副會長由幹事會推薦，總會認可後任之。
（6）會長組織幹事會，並管理本會之所有活動。
（7）副會長協助會長執行會務，於會長無法出席時，代行其職務。
（8）會長、副會長的任期二年，可連選連任。

- 【幹事會及秘書處】
第九條
（1）為維持本會的營運設置幹事會。
（2）幹事會之秘書處設置在筑波大學台灣辦事處。
（3）幹事會由會長、副會長、秘書長、副秘書長若干名、幹部及筑波大學台灣辦事處之成員所組成。
（4）秘書長由會長選任。
（5）副秘書長、幹部由秘書長選任。
（6）幹事會將執行以下之活動
一 本會活動執行之決定
一 本會之會計審查
一 事業報告書之作成
一 總會之召開
一 會員名冊的管理
一 與筑波大學之聯絡調整
一 統整會員之意見，向總會提出章程及附則變更之提案
- 【會費】
第十條 本會之會費依附則所定。另外，配合召開總會等實際活動內容之需求，得收取費用或募捐。
- 【會計】
第十一條
（1）本會的會計年度，由每年的一月一日開始至十二月三十一日為止。
（2）本會的會計將由秘書處管理、由幹事會監督、經總會認可後向所有會員公開。
（3）本會繳納之會費與捐款均無法提報列舉扣除稅額之用。
- 【開除】
第十二條 違背本會宗旨或損害本會聲譽之會員，經幹事會表決通過，提交總會議決，取消其會員資格。
- 【章程的生效】
第十三條 本章程於2016年2月20日校友會成立大會通過，自2016年2月20日起開始生效。
- 【章程修改】
第十四條
（1）本章程可依總會之決議而修改之。
（2）本章程之解釋權屬於幹事會。
- 【附則之運作】
第十五條
（1）在不與本會則相矛盾的情況下，可依本會的營運需求，設置附則。
（2）附則在總會決議後可變更。

- 附註
（1）本會最初之會長，由林華章先生擔任。
（2）本會最初之副會長，由潘進丁及邱若山先生擔任。

- 附則
【會費】
第一條
（1）本會入會費為新台幣1000元，入會時一次支付，即可成為終身會員。

編集後記

文 ● 筑波大学台湾校友会会長 邱若山（1987-1992文芸言語研究科 静宜大学・東呉大学日本語文学系／清華大学歴史研究所 非常勤教授）

筑波大学台湾校友会報第9号ができましたので、謹んでお届けいたします。

二年間の会長任期が終わり、私はリリースの責務を果たし、新会長へのバトンタッチが出来ました。校友会の更なる発展を祈ります。

去年の12月7日に台北で初の「筑波大学TUAN臺灣同窓会」及び「学長を囲む会in台湾」が行われました。我々の年度大会の外に重要な新しい集会が出来、校友の皆様から大勢のご出席のご支援を受けました。

第八回台湾人若手カフェに新卒の陳璟氏、在校生黃琪鈞、邱太一、劉承衛の三氏のご発表がありました。

筑波大学と台湾大学の学生は2016年以来、国際読書会を進めてきました。本号で初めての報道ができました。

校友紹介では、現副会長の郭威伯氏の

「私のスラッシュキャリア」と西本秀氏の「鄭成功が結ぶ、長崎と台湾の400年の縁」のご執筆を得られ、深く味読し参考になるものだと思います。留学生便りでは黃德宇、黃琪鈞二氏の現在の多彩な留学生活が伺えました。

校友交流では校友たちの活躍ぶりを伝えました。皆さんの積極的な近況情報のご提供を期待してやみません。なお、親睦会が6回ありました。これからもできる限りのご参加を！

筑波大学台湾オフィス所長は小金澤禎史先生が担当なさり、校友会との更なる密接な連携を宜しく願っています。

母校の発展基金の募集はまだ進行期間中です。奮ってのご寄付を呼び掛けると同時に、皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。



編輯後記

文 ● 筑波大學台灣校友會會長 邱若山（1987-1992文芸言語研究科 靜宜大學・東呉大學日本語文学系／清華大學歷史研究所兼任教授）

會刊第9期編輯完成，謹此呈上。

兩年會長任期結束，幸能不負使命，完成中繼任務，祝福校友會在新會長的接棒之後有新的發展。

去年12月7日在台北舉行了第一次「筑波

大學TUAN台灣同學會」及「校長座談會in台灣」，年度大會之外，多了重要的集會，感謝校友們大力支持。

去年年輕人座談會，感謝畢業生陳璟、在校生黃琪鈞、邱太一、劉承衛的發表。

筑波大學台灣校友會會刊 第九期

編輯 邱若山、服部美貴、林佳瑤

封面設計 曹融

發行人 邱若山

出版人 筑波大學台灣校友會
台北市大安區長興街81號2樓
02-3366-9313

出版日期 2025年3月8日

版權所有・翻印必究 Printed in Taiwan

廣告贊助校友：

思必瑞特生技 劉宇帆（體育系博士後研究員 2014年止）

長築實業股份有限公司 薛承哲（系統情報工學電腦科學碩士2017年畢）

安永生物科技股份有限公司 郭威伯（理工情報生命學術院 生命地球科學研究群 農學學位學程 博士2021年畢）

筑波大学台湾校友会会費、寄付金のお振込みは、以下の口座をお願いします。

帳號：玉山銀行 大墩分行 0288979138615

戶名：莊坤遠

照片拍攝地點



写真の撮影地：
総合研究棟Aの南側

筑波大學與台灣大學從2016起就有姊妹校學生國際讀書會，已進行8年，本刊首度報導。

本期校友寄語，刊載現任副會長郭威伯的「我的斜槓人生」以及西本秀氏的「鄭成功所結下的長崎與台灣400年的緣分」值得賞讀參考。留學生寄語有黃德宇、黃琪鈞分享了在筑波留學現在有感的生活。

校友近況報導了多位校友的近況，也希望校友們主動提供資訊，讓大家知道。去年有六場校友親睦會，希望今年更加熱絡。

筑波大學台灣辦事處處長，由小金澤禎史老師接任，期待和我們校友會持續展開更密切的交流。

母校的發展基金募款仍在繼續中，希望獲得校友們的大力支持。新的年度裡，祝大家身體健康，萬事如意。



再生医療の再進化

全てこのバイアルに!

精準
定量

Accurate

GTP級
無塵實驗室

Safe

專業製程

安全純淨・定劑定量

個人化
產品設計

Personalized

科學
數值分析

Scientific

思必瑞特生技股份有限公司

以Bio-Foundry為核心概念的次世代生物科技服務
提供客製化生物製造服務・精準、高品質的再生醫療技術

日本サービスの提供は2024年の第3四半期に開始予定です。



Spirit Scientific



Spirit Scientific
Japan

長築實業股份有限公司
百富非凡機電設備有限公司



塗裝設備的系統整合公司，致力於提供客戶最先進與高性價比的自動化設備
代理世界知名品牌(YASKAWA 機器人, Sames、Graco、Carlisle Fluid Technologies、Asahi Sunac等塗裝設備)，亦投入自主產品研發，我們結合最新的設備並提供客戶客製化產線設計與全方位解決方案，引導客戶接軌工業4.0。

機器人塗裝



汽車-水性塗裝



自行車-粉末塗裝



縫紉機-粉末塗裝

傳統塗裝



手動靜電噴槍液體塗裝



升降機摩擦槍粉體塗裝



往復機靜電噴槍液體塗裝

新技術應用



木器研磨-力覺感知



保險桿-夾取移載



視覺辨識

總公司：新北市土城區忠承路83號9樓
電話：886-2-2268 4088 台中公司：886-4-2358 8755 台南公司：886-6-270 9257
www.bfcoating.com.tw
中國：(北京、天津、昆山、上海、東莞、廈門)、越南、印尼、泰國、印度

產地到餐桌 產銷一條龍

源頭

1 步步用心、層層把關

- 契作漁場經過至少30項查核項目
- 安永查核人員親自訪視每家漁場

選品

2 隻隻選品、火眼金睛

- 漁場職人清晨入池挑選
- 確保魚身完整、健康無破損

急送

3 限時急送、鮮美入庫

- 上岸後限時急送入庫
- 運送全程控管水質溫度

品檢

4 批批檢驗、人性管理

- 魚鮮製程通過257項查核項目
- 全程分切使用電解水清潔殺菌

細胞活存技術

Cells Alive System

- 運用高科技磁場與低周波技術冷凍，宛如現撈
- 高雄彌陀廠-全亞洲第一座大型CAS冷凍保管倉庫

6

鮮配 產地品質、直達餐桌

細胞活存技術

CELLS ALIVE SYSTEM
ANYO

嚴選當季
新鮮食材

國際食品
安全標準
工廠加工

獨家細胞
活存保鮮

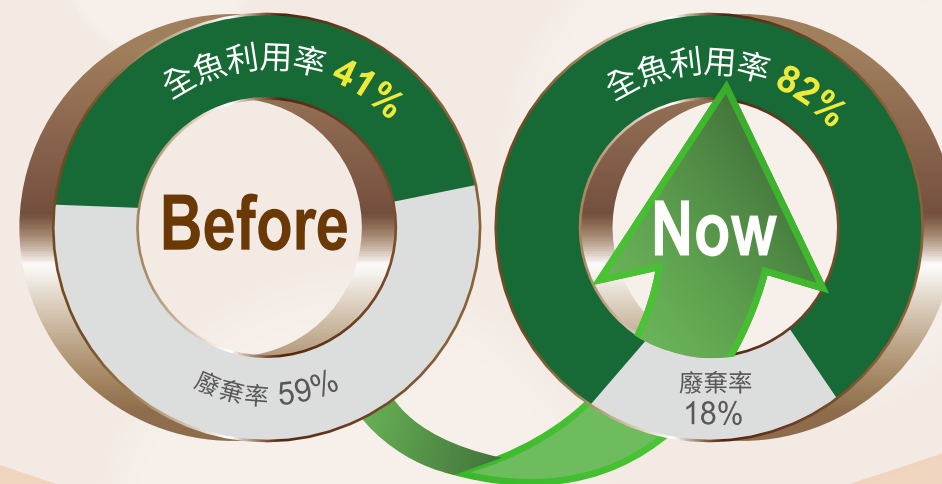
內外檢驗
嚴格把關

-18°C冷凍
倉儲配送

貼心服務
美味輕鬆
上桌

永續經營 全魚利用

領先業界開發三項創新技術，可將鱸魚之全魚利用率由41 % 提升至82 %



安永分段精準
加壓萃取技術
AY-FPP



六連冠金獎鱸魚精

歷經36次試驗，調整精粹比例，打造出最佳胜肽精華與風味的「安永鱸魚精」、「安永鱸魚精(龜鹿御品)」。

安永胜肽
AY-EE
產製技術

安永寵物食品
AY-PFF
配方技術

低生態負擔 守護海洋

魚精萃取後魚副產物回收再利用，開發胜肽和寵物食品，提升全魚經濟價值，降低能源與資源消耗。

全魚利用

魚副產物

魚鱗

魚骨

魚肉

細胞活存技術
CELLS ALIVE SYSTEM
ANYO



頂級鮮味 直送餐桌

全國最優質安心水產，經CAS細胞活存技術冷凍加工，製成小家庭方便料理的魚片、魚排、魚丸、料理包與藥膳。



嚴選天然原料 保濕護膚

滿滿膠原蛋白，利用魚膠原胜肽開發護膚產品「安永膠原蛋白青春凍」、「膠原潤澤面膜」系列。



線上購物 anyongfresh.com